

## 償還 運用報告書（全体版）

第19期<償還日2019年5月13日>

### アジア・ウェイブ マネープールファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2010年2月22日から2019年5月13日（当初2015年2月9日）までです。	
運用方針	安定した収益の確保を目指した運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	国内マネー・マザーファンド受益証券。
	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
組入制限	当ファンドの国内マネー・マザーファンドの組入上限比率	制限なし。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「アジア・ウェイブ マネープールファンド」は、投資信託契約を解除し、2019年5月13日をもちまして繰上償還させていただきました。ここに第19期の運用状況とともに設定以来の運用経過をお知らせいたします。

ご愛顧誠にありがとうございました。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物率	純総資産額
	(分配落)	税金込み	期騰落率			
	円 銭	円	%	%	%	百万円
15期 (2017年6月8日)	10,006	0	△0.05	—	—	1
16期 (2017年12月8日)	10,000	0	△0.06	—	—	1
17期 (2018年6月8日)	9,995	0	△0.05	—	—	0.999491
18期 (2018年12月10日)	9,988	0	△0.07	—	—	0.998767
(償還時) 19期 (2019年5月13日)	(償還価額) 9,982.65	—	△0.05	—	—	0.998265

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率、債券先物比率は実質比率を記載しております。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指数をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物率
	円 銭	騰落率		
(期首) 2018年12月10日	9,988	—	%	%
12月末	9,987	△0.01	—	—
2019年1月末	9,986	△0.02	—	—
2月末	9,986	△0.02	—	—
3月末	9,984	△0.04	—	—
4月末	9,984	△0.04	—	—
(償還時) 2019年5月13日	(償還価額) 9,982.65	△0.05	—	—

※騰落率は期首比。

※債券組入比率、債券先物比率は実質比率を記載しております。

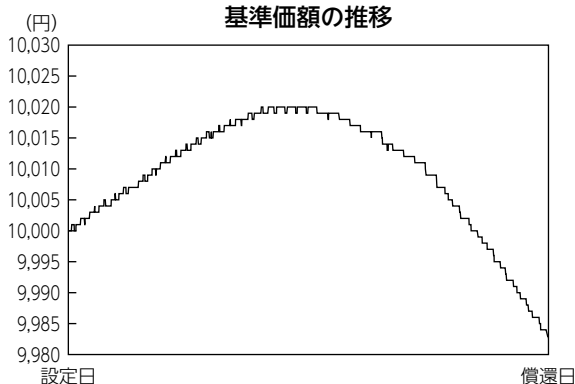
## ○設定以来の運用概況

(2010年2月22日～2019年5月13日)

## 1. 当ファンドの特色

「国内マネー・マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)を通じて、主としてわが国の短期公社債に実質的に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## 2. 設定時から前期(第1期から第18期)までの運用経過



## ■ 基準価額の主な変動要因

マイナス利回りの債券の投資については投資を見送りました。この結果、信託報酬の支払いなどにより、基準価額は下落しました。

## 【主な上昇要因】

保有債券の利息収入

## 【主な下落要因】

信託報酬の支払い

## 2010年2月22日～2015年6月8日

### 投資環境

#### ●国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の金融緩和姿勢を受けて低位安定の動きとなりました。2013年3月に就任した黒田日銀新総裁は強力な金融緩和政策を打ち出し、マネタリーベースの増加や、日銀保有の長期国債残高の拡大などを決定しました。

### ポートフォリオについて

#### ●当ファンド

設定後速やかに国内マネー・マザーファンドの高位組み入れを開始しました。

#### ●国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しました。

## 2015年6月9日～2018年12月8日

### 投資環境

#### ●国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の大規模な金融緩和を受けてマイナス圏での推移となりました。日銀は2016年1月にはマイナス金利政策を導入し、金融緩和をさらに強化しました。

### ポートフォリオについて

#### ●当ファンド

当期間を通じて国内マネー・マザーファンドへの投資の高位組み入れを継続しました。

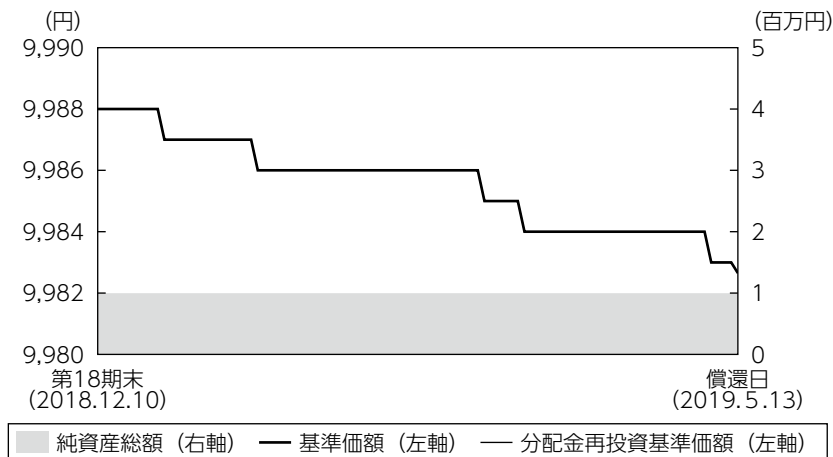
#### ●国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しましたが、マイナス利回りの債券について投資を見送ったことから、当期間末時点では債券組入比率は0%としました。

### 3. 当期（第19期）の運用経過

#### 運用経過の説明

##### 基準価額等の推移



第19期首： 9,988円  
償還日： 9,982円65銭  
(既払分配金1円)  
騰落率： △0.1%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

##### 基準価額の主な変動要因

「国内マネー・マザーファンド」（以下、マザーファンドといいます。）を通じて、主としてわが国の短期公社債に実質的に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いましたが、マイナス利回りの債券の投資については投資を見送りました。この結果、信託報酬の支払いなどにより、基準価額は下落しました。

##### 【主な上昇要因】

特になし

##### 【主な下落要因】

信託報酬の支払い

## 投資環境

### ●国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

作成期間を通じて国内マネー・マザーファンドの高位組み入れを継続しました。なお、繰上償還にあたり、マザーファンドの売却を実施しました。

### ●国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しましたが、マイナス利回りの債券について投資を見送ったことから、期末時点の債券組入比率は0%となっています。

## ベンチマークとの差異について

実質的にわが国の短期公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っておらず、また値動きを表す適切な指数がございません。よって、ベンチマークなどは特定していないため、グラフは掲載しておりません。

## 償還にあたって

ファンドの設定以来、長い間ご愛顧いただきまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年12月11日 ~2019年5月13日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	3円	0.027%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,985円です。
(投信会社)	(1)	(0.009)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.009)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.009)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
合計	3	0.027	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年5月13日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
国内マネー・マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 968	千円 977

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年5月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年12月11日～2019年5月13日)

期首 (元)	残高 (本)	当期 設定 元	当期 解約 元	償還 (元)	時 (本)	取引の理由
百万円	1	百万円	-	百万円	1	当初設定時における取得。 商品性を適正に維持するための取得。

## ○組入資産の明細

(2019年5月13日現在)

2019年5月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘柄	期首 (前期末)
	□数
国内マネー・マザーファンド	千□ 968

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月13日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 998	% 100.0
投資信託財産総額	998	100.0



○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2019年5月13日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	998,472円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	998,472
(B) 負 債	207
未 払 信 託 報 酬	206
未 払 利 息	1
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	998,265
元 本	1,000,000
償 還 差 損 金	△ 1,735
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,982円65銭

○損益の状況 (2018年12月11日～2019年5月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 5円
支 払 利 息	△ 5
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 291
売 買 損 益	△ 291
(C) 信 託 報 酬 等	△ 206
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 502
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,562
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	329
(配 当 等 相 当 額)	( 348)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 19)
償 還 差 損 金(D+E+F)	△1,735

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

- ・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額  
 期首元本額 1,000,000円  
 期中追加設定元本額 -円  
 期中一部解約元本額 -円
- ・分配金の計算過程  
 当ファンドは、信託約款に基づき、当計算期間末をもって償還されるため、該当事項はありません。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年2月22日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年5月13日		資産総額	998,472円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	207円
				純資産総額	998,265円
受益権口数	1,000,000口	1,000,000口	-口	受益権口数	1,000,000口
元本額	1,000,000円	1,000,000円	-円	1万口当たり償還金	9,982円65銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,000,000円	1,000,155円	10,002円	0円	0.0%
第2期	1,000,000	1,000,406	10,004	0	0.0
第3期	2,214,872	2,216,478	10,007	0	0.0
第4期	1,000,000	1,001,088	10,011	0	0.0
第5期	1,000,000	1,001,344	10,013	0	0.0
第6期	1,000,000	1,001,601	10,016	0	0.0
第7期	1,000,000	1,001,758	10,018	0	0.0
第8期	1,000,000	1,001,921	10,019	0	0.0
第9期	1,000,000	1,001,980	10,020	0	0.0
第10期	1,000,000	1,001,939	10,019	0	0.0
第11期	1,000,000	1,001,800	10,018	0	0.0
第12期	1,000,000	1,001,560	10,016	0	0.0
第13期	1,000,000	1,001,318	10,013	0	0.0
第14期	1,000,000	1,001,078	10,011	0	0.0
第15期	1,000,000	1,000,550	10,006	0	0.0
第16期	1,000,000	1,000,020	10,000	0	0.0
第17期	1,000,000	999,491	9,995	0	0.0
第18期	1,000,000	998,767	9,988	0	0.0

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 (税込み)	9,982円65銭
-----------------	-----------

1. 償還金のお支払いは、償還日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 償還金が個別元本を上回る金額に対して、源泉税が徴収されます。

---

---

# 国内マネー・マザーファンド

---

---

## 第11期 運用報告書

(決算日 2019年1月15日)

「国内マネー・マザーファンド」は、去る2019年1月15日に第11期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2

## ○最近3期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券優先物比率	純資産総額
		期騰	中落率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2017年1月16日)	10,110		△0.02	40.4	—	495
10期(2018年1月15日)	10,104		△0.06	—	—	487
11期(2019年1月15日)	10,097		△0.07	—	—	470

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

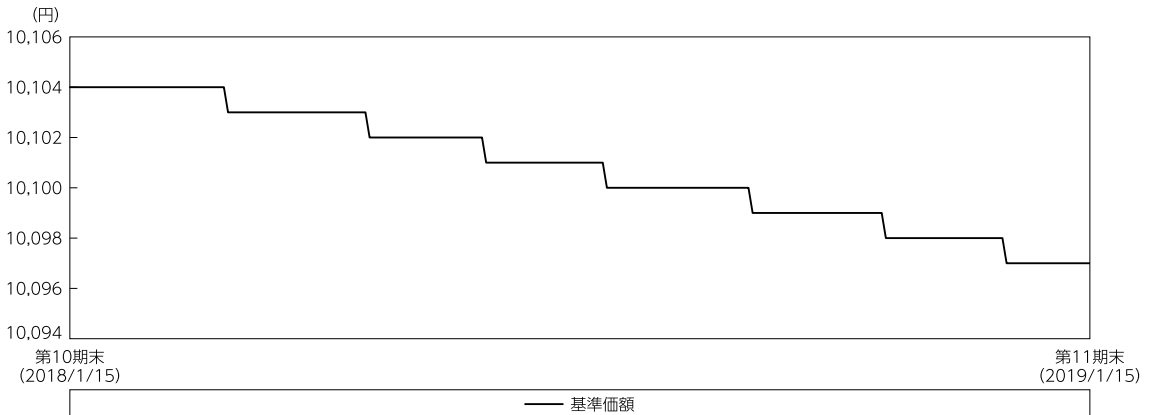
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券優先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首)	円		%	%		%
2018年1月15日	10,104		—	—		—
1月末	10,104		0.00	—		—
2月末	10,104		0.00	—		—
3月末	10,103		△0.01	—		—
4月末	10,102		△0.02	—		—
5月末	10,102		△0.02	—		—
6月末	10,101		△0.03	—		—
7月末	10,100		△0.04	—		—
8月末	10,100		△0.04	—		—
9月末	10,099		△0.05	—		—
10月末	10,098		△0.06	—		—
11月末	10,098		△0.06	—		—
12月末	10,097		△0.07	—		—
(期末)						
2019年1月15日	10,097		△0.07	—		—

※騰落率は期首比。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移 (2018年1月16日～2019年1月15日)



### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。基準価額は、期首10,104円からスタートしましたが、マイナス金利の影響が大きく10,097円まで下落して期末を迎えました。

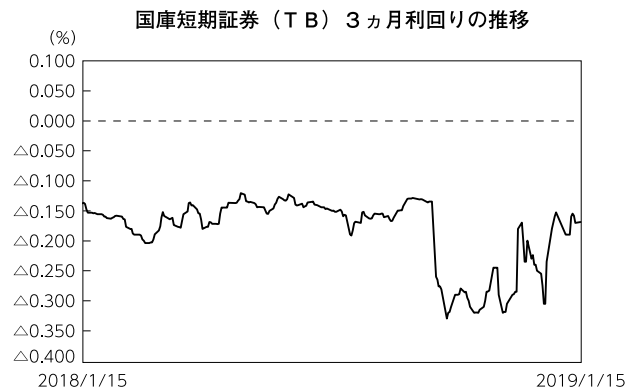
### 投資環境 (2018年1月16日～2019年1月15日)

#### 国内債券市場

当期間の残存3か月程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

日銀は黒田総裁の第2期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けています。また、2018年7月の日銀政策決定会合において、長期金利を0%程度に誘導する目標自体は維持しつつ、変動幅の上限を0.2%程度まで容認する金融政策の調整を行いました。発表直後は、一時的にボラティリティが高まる場面もありましたが、イールドカーブは全体的に狭いレンジでの動きに留まっています。

一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。



**ポートフォリオについて（2018年1月16日～2019年1月15日）**

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み入れはありません。

**ベンチマークとの差異について（2018年1月16日～2019年1月15日）**

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。よってグラフは掲載していません。

**今後の運用方針**

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年1月15日現在)

2019年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 470,919	% 100.0
投資信託財産総額	470,919	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	470,919,551
コール・ローン等	470,919,551
(B) 負債	1,024
未払利息	1,024
(C) 純資産総額(A－B)	470,918,527
元本	466,412,046
次期繰越損益金	4,506,481
(D) 受益権総口数	466,412,046口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,097円

## ○損益の状況 (2018年1月16日～2019年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 361,719
支払利息	△ 361,719
(B) 当期利益(A)	△ 361,719
(C) 前期繰越損益金	5,030,085
(D) 解約差損益金	△ 161,885
(E) 計(B＋C＋D)	4,506,481
次期繰越損益金(E)	4,506,481

・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

## 注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	482,273,384円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	15,861,338円
期末元本の内訳	
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド円コース	1,781,537円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド韓国ウォンコース	227,606円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド中国元コース	693,180円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド豪ドルコース	792,515円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド通貨バスケットコース	3,960,411円
アジア・ウェイブ マネーボールファンド	968,798円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	990,394円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジありコース	990,394円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース(年1回決算・為替ヘッジなし)	69,246,703円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース(年4回決算・為替ヘッジなし)	366,963,518円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・限定為替ヘッジ)	4,947,950円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース(年4回決算・限定為替ヘッジ)	4,945,108円
合 計	466,412,046円